

『新技術モータで、EV シフトの最先端を目指す』

近年、EU・中国・インドなど EV シフトへの転換と、ガソリン・ディーゼルの禁止を打ち立て、自動車業界に大転換が来るなどとの報道をよく見かけます。

EV シフトは車業界だけではなく、重機・農耕機器・産業機器・そして船舶や発電機（ディーゼル発動機）なども含まれております。

EV シフトに際し、全メーカーのキーワードとされているのが、小スペースで大容量の電池および、高性能制御回路（インバータ）です。

動力の主となるモータ開発に触れるメーカーは有りません。

EV に向けた理想なモータとは

1. 簡単な制御方法で汎用性が高い。
2. 動作可能な回転域が広い。
3. 高トルク時に高効率を維持。
4. 高効率稼働なので、電池使用量が従来の4分の1。
5. 出力・トルクが通常使用範囲内なら発熱しない。

本発明機について

上記では一般的に分かりやすいように新技術モータと記述しましたが、一般のモータ技術者からみれば本発明内容はモータでは有り得ないとの事ですので、社内では、本発明の実験機（旧称）エナマシンと呼び、製品名称（案）を **EPR-V**、(electric power revolution vehicle) とし、従来のモータとは比較にならないほどのスペックを有していると自負しております。本機性能等は添付別紙にてご確認ください。

EPR-V の利用目的

EV カーは無論の事、重機・農耕機器・産業機器・そして船舶（船外機・船内機）に至る、全ての電動化。

発電機として、従来の小型発電機や、半導体変換機では成し得なかった、力率制限、電圧降下や負荷使用時の波形の問題を大幅に改善し、インバータ搭載のデジタル家電製品を複数同時使用しても、双方発熱することなく安心安全に利用できます。

株式会社 成田
大阪府枚方市伊加賀北町3番6号
Tel : 072-841-5284
Fax : 072-841-5285
URL : <http://kk-narita.co.jp>